

# 地域密着型サービス事業者 自己評価表

( 認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所 )

事業者名	グループホーム延寿園 ユニット 延	評価実施年月日	平成22年1月15日
評価実施構成員氏名			
記録者氏名		記録年月日	平成22年1月26日

北海道

は外部評価項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p> <p>その人らしい、当たり前の生活を保障するという理念のもとに、職員が個々のケアを大切にを行っています。</p>	○	低料金で入居できるという点が当ホームの特徴であり理念であるので、今後も実施していきたい。
2	<p>○理念の共有と日々の取組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p> <p>経済的負担の少ないグループホームという点を堅持している。</p>	○	毎日理念を読み上げて復唱し、日々の実践の指針としている。
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p> <p>低年金者、経済的に余裕のない方にも受け入れられるようIFホームの一角に理念を掲示し、誰にでも理解してもらえるようにしています。</p>	○	ホームページを開設し、情報を公開しています。
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p> <p>挨拶をこまめに行っている。 入居者さまの散歩コースとして近隣の庭を拝見している。</p>	○	お花をいただいたり、入居者さまと一緒に立ち話をしてくださいました。
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p> <p>今年度も積極的に地域交流に取り組み、日々の感謝としてホーム裏駐車場で、2日間の盆踊りを開催しました。</p>	○	盆踊りに参加してくださいました。
6	<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p> <p>当事業所のデイサービスの機能訓練室で「認知症ケアの講習」を開催しました。</p>	○	「認知症ケアの講習」を続けています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p> <p>サービスの向上のため改善点を明確にし、取り組んでいる。自己評価作成にあたっては、職員全体で分担して取り組み、全体での検討を実施しています。</p>	○	評価表を出入り口におき、皆が分かるようにして具体的な改善をしていきたいと思う。
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p> <p>事例検討や入居者さまの様子等を報告し、皆様の意見を伺い、サービスの向上に活かしている。</p>	○	他グループホームの訪問をしました。
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> <p>余市グループホーム連絡協議会が発足し、機会が増えました。</p>	○	少しずつ増えてきました。
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> <p>管理者は理解しているが職員は学ぶ機会があまりなく、勉強不足のために活用して支援することはできていない。</p>	○	地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を作りたい。(ケアカンファレンス等で行いたい。)
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> <p>虐待が行われているとは思っていないが、起きた場合はすぐ注意をして防止に努める。</p>	○	介護者は虐待しているつもりではないと思っていることも、入居者側からみるとどうなのかな、ということもあげて考えていきたい。
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> <p>十分な説明を行い、理解・納得を図っている。</p>	○	現状のままでよいとは思いますが、もっと上手に説明していければもっとよいと思う。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	意見、不満、苦情を職員や管理者は気軽にいつでも話せる雰囲気を作って聞いており、運営にも反映させている。	○	居室で苦情を聞いたり、苦情等を業務状況記録や日報等を利用して反省の材料を記録している。
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	ホーム独自の便りを月1回発行し、家族等に配布している。電話での連絡や来訪時にもご家族さまに報告しています。	○	今後も状況に応じて報告していきたいと思います。
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	苦情等は受け入れ、改善しており、意見・不満も今後の参考として取り入れ、運営に反映させている。	○	ご意見や苦情等を記入できる用紙を作り、これらを利用して運営に反映させている。
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	意見、提案はことあるごとに聞き入れ、時には反映させています。	○	メンバーの入れ替えや役割交替等の提案。
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	努めている。	○	行事があるときや時間のかかる通院時等に調整している。
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	配慮している。	○	職員の異動は少人数で行っており、入居者へのダメージは少ないと思われる。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>管理者、計画作成者担当者の基礎研修は実施されているが、段階に応じた研修は不足している。</p>	<p>○</p> <p>もっと職員に研修を受ける機会を作るための年次計画を作成し、実践していきたい。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>職員の一部は同業者と交流している。ネットワーク作りにも気をつけて人脈作りに励んでいる。 グループホーム連絡協議会の設立。</p>	<p>○</p> <p>他施設の見学や訪問の機会を一部の人だけではなく、皆がそれぞれ作っていけるようにしたい。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>連続勤務にならないようなシフト作りや、休日は職員本人の希望を取り入れている。</p>	<p>○</p> <p>入居者さまから離れた休憩室が望ましい。 正月休み、お盆休みが取れるようにしたい。</p>
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	<p>職員の資格取得には理解はあるが、理事長や管理者は、努力や実績をどの様に把握しているか、職員に開示説明してほしい。</p>	<p>○</p> <p>常に向上心を持って働き続けるために個々の実状に適切に対応した育成。</p>
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>信頼関係はできていると思うし、そうなるように努力していると思う。 良心的であるよう努力し、受け止めている。</p>	<p>○</p> <p>ご本人さまの表情・動きに目配りし、問いかけ・傾聴している。</p>
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>上に同じ。</p>	<p>○</p> <p>お小遣い等、たくさん預けられない家族や支払いが滞っている家族にも立て替えや延滞等を許していて、入金を待っていてあげることもある。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	一応、本人の希望を入居当時に家族も含め聞くように対応している。	○	この際はショートやデイサービスや訪問等も含め、そのときに合ったサービスの提供から、まず始めている。
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	少しずつですが、入居者さま同士や介護員との信頼も作られていると思い、その上で色々なサービスの利用はしていると思う。	○	ご家族さまから入居者さま全員にと、魚の煮付けを持ってきてくださいました。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	入居者さまから教わることもあり、そのときは素直に「ありがとう」と伝え、お互いの関係を築き、共に助け合っていると思う。	○	今よりもより良いご家族さまとの交流、入居者さま同士が一つの家族のように支えあっていきたいと思う。
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	通院をご家族の方がしてくださったりして、一緒に入居者本人を支えている関係も築いている。	○	何か変化があった時にはすぐに報告し、来園時も情報交換を小まめに行っている。
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	電話や手紙などで近況報告を行っており、なかなか来園されない遠方の家族にも理解してもらえるようにしている。	○	これまで同様、より良い関係が築いていけるように支援していきたい。
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	当ホームに来て頂いたり、馴染みの床屋へ通ったりしています。	○	これまで以上に気軽に当ホームに立ち寄っていただき、また当ホームの入居者も気軽に外出していただけるよう支援をしていきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	体操やレクリエーションで入居者さま同士が関わりあいを持てるような声かけや、訪室の折に他入居者さまと同伴で行う等。	○	一人ひとりの個性を大切に、状況を見ながら支援していきます。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	家族などからも情報や意向を聞きながら把握に努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	できれば本人の希望に添えるようにしたいが、認知症の進行により意思表示が困難な場合は、ご家族に意向を伺うようにしています。	○	これからもより一層の把握に努めていきたい。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	他機関からの情報やご家族が面会に来られた折りにお話を伺い、その都度フェイスシートや経過支援を記録して把握に努めている。	○	同上。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	そのように努めている。	○	同上。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	毎日行われるケアカンファレンスの時にモニタリングを行い、意見を出し合い、それを元に介護計画を作成しています。	○	今後も同様に行っていきたいと思います。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	3か月に1度、モニタリングを行い、入院によりADLの低下や主治医からの食生活の改善を指示された場合は、新たな介護計画を作成しています。	○	期間に応じて見直しを行っているが、今後は期間に間に合うように介護計画を作成していきたいです。
38 ○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	入居者の話したことや行動を介護日誌に記録し、それにより改善点を拾い出し、見直しています。	○	個別記録をより詳しく記載し、情報を共有できるように今後も取り組んでいきたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	状況、状態、要望に応じ、事業所の多機能性を活かした支援をしている。	○	今後も多機能性を活かした介護の実施を柔軟にしていきたいので、ご家族からの要望をよく聞いて対応していくこととしたい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	クリスマス会、節分、家族会等に地域や高校生ボランティアが来園され、色々なレクリエーションを行ってくださいます。	○	これからもボランティアの協力を呼びかけていきたい。
41 ○他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	当ホームより他ホームが該当すると思われる場合は、そちらに支援してもらえるように協力している。	○	これからも他サービス事業者やケアマネジャーとの関係を密にしていけるような努力をしていきたい。
42 ○地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	ほとんどしていない。	○	これからは協働をもっとしていければ良いと思う。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援をしている。</p> <p>既往歴や症状を見ながら専門医へ受診しています。内科医は月に1度往診に来てくださり、土日祝日等の病院がお休みのときは電話で指示を伺います。</p>	○	<p>今後も主治医と相談しながら入居者さまの健康保持とご家族さまが安心していただけるように、これからもいっそうかかりつけ医との関係を密にしていきたい。</p>
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。</p> <p>せん妄等が多くなってきたときはご家族の了承を得て、近くの専門医を受診しています。</p>	○	<p>今後もそのように支援していけるよう努力していきたい。</p>
45	<p>○看護職との協働</p> <p>事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p> <p>カンファレンスやミーティングで看護師と介護士が相談しながら、健康管理や支援をしています。</p>	○	<p>同上。</p>
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。</p> <p>電話連絡をしたり病院に直接伺い、ご家族と一緒に病状説明を聞き、状況の把握に努めています。</p>	○	<p>同上。</p>
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。</p> <p>ご家族と相談し、できるだけ希望に沿うようにしています。看護師や介護主任が代表して主治医と話し合い、治療方針を共有しています。</p>	○	<p>同上。</p>
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p> <p>少しでも長く当グループホームで生活できるように、ご本人が入院を拒否した場合には、主治医の許可を得て、ホーム内で看護師が点滴を行ったりしています。</p>	○	<p>今後も重度化や終末期に向けたチームでの支援をひとりでもできるよう対応したい。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49	○住替え時の協働によるダメージの防止  本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	フェースシート、情報提供書、基本情報等で情報交換をしているので、ダメージは防いでいると思います。	○	家族や本人にかかわるケア関係者間で十分な情報交換が行われていないので気をつけていきたい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	声かけの際は言葉遣いに十分気をつけて対応しています。	○	自尊心を傷つけることのないよう、不適切な言葉に注意を払い、対応していきたいです。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援  本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	言葉の聞き取りが困難な入居者さまに対して筆談やリアクション方法を取り入れています。	○	ご本人さまの言葉や訴えをできる限り傾聴し、できることは支援させていただき、できないことは十分に話し合い、納得していただけるように努めていきたいと思っています。
52	○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	無理強いすることなく、ご本人さまのペースに合わせて支援するよう、心掛けています。	○	日々の生活状況を十分観察し、対応していきたいです。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	ご家族さま、ご本人さまの希望をお伺いし、支援させていただいています。	○	ご本人さまの体調を考慮し、ご希望に添えるよう努めたいと思います。
54	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。	昼、夕食は職員と一緒に食卓を囲み、後片付けなども手伝っていただいています。	○	今後は食事以外でも入居者さまと一緒に、おやつ作り等を取り組んでいきたいと思っています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	水分摂取の必要性を考え、声かけをおこなっています。		ご本人さまの嗜好を聞き取り、希望に沿った飲み物を提供し、楽しみながら過ごしていただけるように支援していきます。
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	失禁を減らすように声かけ誘導をしています。		ご本人さまに声かけし、パッドの確認・毎日清拭を行い、気持ちよく生活していただけるようにしていきます。
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	男性・女性を曜日や時間を別に行っています。		ご本人さまの体調が悪いときは曜日を変え、別の日に入浴していただいています。
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	睡眠不足にならないためにも、安心して眠れるようにしています。		不安で眠れないときなどは、優しく声をかけるなど安心して眠っていただけるように接しています。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	一人ひとりの特技や興味を持たれるものなど、楽しみながら行っていただき、仕事を見つけて役割として行っていただいています。		馴染みの畑仕事をしていただいています。
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	お金をご自分で所持されている方もいますが、ほとんどの方はグループホームで管理し、その中で買い物をしています。		欲しい物や必要なものがある場合には一緒に行き、支払いは自分で行っていただけるように支援しています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	入居者さまの体調を伺い、声かけにて散歩やお店に買い物に行くなど、天候状態に配慮しながら行っています。	○	暖かい時期は日光に当たりながら、体操や散歩に出かけ、冬は外出が困難な場合は車でスーパー等へ行けるよう、体調を伺いながら継続していきたい。
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	ニーズに応え、地域の果物狩りや戸外ヘドライブに出かけたりと、満足していただけるよう努力しています。	○	外出先を決められない入居者さまは会話の中で、思い出の場所などを聞き出して機会を作って行き、なかには個人的にご家族さまと出かけたりしています。
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご本人さまの希望があったとき、手紙を送ったり電話をかけたりしています。	○	読み書きが困難な入居者さまでも、こちら側から出し、お返事の便りがあると、とても喜ばれると思うので、できればこれからも取組んでいきたいと思えます。
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	ご家族さま、お孫さん、ご親戚の方が来園してくださっています。	○	入居者さま同士やそのご家族さまとの交流も深まっていけるようにしたい。
(4) 安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	当ホームでは行っていません。	○	今後も身体拘束は当ホームでは行いません。
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	入居者さまの居室の鍵を掛けることは行っていません。	○	今後も鍵をかけない。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	各介護員が「ほうれんそう」を実施し、入居者さまの体調等の把握に努めている。	○	今後も入居者さまの体調・安全に配慮し、事故のないようにやっていきたい。
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	入居者さまの認知症等や持ち物の管理を把握。	○	入居者さまの状態に目を配り、事故のないように努めたい。
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	転倒などの事故のないように取り組んでいる。	○	事故報告書を書くことのないように注意していきたい。
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	一部の職員のみ。	○	すべての職員が対応できるようにしていきたい。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	避難訓練を行っています。	○	訓練など職員があせらずに行動していきたい。
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている。	ご家族さまとは挨拶ぐらいしかしていません。	○	現状維持、ご家族さまとの「ほうれんそう」安全・一緒に不安を与えないように取り組みたい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	申し送りや職員同士の報告、必要に応じて通院し医師との連絡、昨年より看護師が勤務していることにより一層、入居者さまの異変の早期発見に繋がっています。	○	状態を悪化させることのないよう、よりよい対応を心がける。
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	個人ファイルに服薬表が入っています。また職員同士で何度もチェックし、服薬していただいています。	○	服薬ミスが起こるので、そのようなことがなくなるよう工夫していきたい。
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	排泄チェック表に排便有無を記入し、状態を把握している。便秘症の入居者さまには医師の指示のもと、服薬していただき、運動・水分量にも気を配っている。	○	今後も継続していきたい。
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後は必ず口腔ケアを行っています。週に1度、義歯の消毒をしています。	○	今後も継続していきたい。
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	医師の指示のもと、食事の摂りかたや水分摂取に気をつけている。食事だけで栄養が補えない場合は、処方されている薬等で対処している。	○	調理担当者にも入居者さまの状態を伝え、できるだけ個々に合った食事を提供したい。
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	予防として園内の消毒等行っている。感染が広がらないよう注意している。	○	感染を防ぐため今まで同様、予防を行い、マニュアルに沿った対応や新しい知識も身につけたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	調理前には調理台やカウンターなどをアルコール消毒し、布巾は漂白剤に浸けて清潔にしています。		今後も同様に行っていきます。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	玄関は段差がなく出入り口周辺に季節感のある植物を置き、季節毎に飾り付けを変え、明るい雰囲気作りに努めています。		今後も明るく出入りしやすいよう、工夫していきたい。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	皆さんが集まる居間には季節毎に飾り物を変えたり、トイレには常に芳香剤を置くなど、不快な臭いに気をつけています。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	共有空間は日当たりが良く、皆さんがそれぞれの席でテレビを見たり、他入居者さまとお話をされて過ごしています。		2~3人座れるソファや畳のスペースがあればもっと良い。
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	使い慣れた入居前からの物を持ってきていただいて、今までと同じような状態に設置し、安心して暮らせるように配慮しています。		設置場所はご本人さまや家族に任せています。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	気になる臭いは芳香剤を置くなどし、窓を開けて換気をし、各居室には濡れタオルを掛けて、共有空間には加湿器を置くなどして乾燥を防いでいます。		外気温との差に配慮しながら換気を行ってきたい。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	建物内部はすべてバリアフリーで、トイレ・廊下には手すりがあり、歩行安定されない方には利用していただいている。	○	食堂が狭く、移動される入居者さまによっては不自由そうである。スペースは限られているためにテーブル配置換え等を考えてみる。
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	入居者さまの居室のドアに各人の馴染みの目印を付けている(間違いのある方のみ)。	○	自室の目印を見ていただく。または近くまで誘導。
87 ○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	夏には外回りでバーベキューを数回行う。 2F屋上でも昼食やプランター野菜作りを楽しむ。 花壇もあり、散歩時に話題にする。	○	今後も気候のよい時季には活用・利用する。

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<p>① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんど掴んでいない</p> <p>① ユニットごとに掴んでいる。</p>
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<p>① 毎日ある ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない</p> <p>① 午前10時ごろと、午後4時ごろにお茶やコーヒーを飲みながらゆったりと過ごす時間がある。</p>
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<p>① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない</p> <p>② 全員が自分のペースで暮らしているとは思われないが、その方のスペースで生活できるよう配慮している。</p>
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている	<p>① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない</p> <p>② 会話や声かけ等のコミュニケーションを小まめに行うことにより、生き生きとした表情が見られている。</p>
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<p>① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない</p> <p>③ 自分で行きたいときに買物や美容室などに出かけている方もいるが、散歩や車いす利用で戸外へ出かける入居者さまも居る。冬期間は寒冷もあって外出の機会が少ない。</p>
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<p>① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない</p> <p>① 看護師と職員間との情報交換をまめに行う。健康管理については、毎日バイタルチェックを行い、変化があった場合はすぐに連携病院に協力を仰いでいる。安全面ではスタッフ間で情報交換し、不安なく生活できるように改善に努めていきたい。</p>
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<p>① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない</p> <p>① 可能な限り要望を聞き入れ支援を行っているので、安心して暮らして頂いていると思う。</p>
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<p>① ほぼ全ての家族 ② 家族の2/3くらい ③ 家族の1/3くらい ④ ほとんどできていない</p> <p>① 来園時はこちら側から声をかけ、積極的にコミュニケーションを取っているので信頼関係はできていると思います。</p>
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<p>① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない</p> <p>① 入居者のお友達や知人が気軽に訪ねてきている。</p>

V. サービスの成果に関する項目			
項目		取り組みの成果	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない	② 地域行事として盆踊り大会を当駐車場で開催したことにより、地域住民とのつながりが深まったと思う。
98	職員は、生き生きと働いている	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない	① 人間関係は比較的よく保たれ、協力し合って働いていると思う。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	② まだまだサービスには不足している面があると思われるが喜んでもらえるようなサービスを提供できるように努めている。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない	② 不満は少なからずあると思うが、気軽に相談できる環境にして改善していくよう努めている。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

入居者さま個々の性格を尊重しながらも、入居者さま同士がにこやかに、穏やかな日々を過ごせるように取り組んでいます。